

高村京子県議会報告

2023年6月議会



一般質問に登壇（6月27日）

新型コロナ感染症対策について

新型コロナ感染症を振り返り、特に第7波8波での医療・介護現場のひっ迫で対応困難事態を繰り返さないために、引き続きの感染予防、薬局での無料検査・病床確保料・保健所の病床調整を求めました。医師・看護師・介護福祉士の増員実現を求め、特に介護職員の確保難、介護職の低賃金、介護報酬が低く多くの事業所が経営難にあり、抜本的な改善を国に求めるよう提言しました。今後5年間で県が目指す確保数である医師約340人増、看護師1088人増、介護職員4000人増の目標実現を求めました。

特別支援学校の環境改善を

特別支援学校の劣悪な環境改善は、教職員の努力では限界。県の10年計画では改善に追いつかない、早急な改善計画を！特に上田養護学校は浸水想定区域にあり、早期の移転改築を求めました。

介護サービスについて

介護保険料未納者は低所得者が多く、介護サービスを受けられないことが危惧され、福祉的支援こそ求められている。未納者数と対応は？ 答弁は県内未納者はR2年8716人、県第9期高齢者プランで低所得者への配慮も検討する。国においても保険料負担の在り方も議論されている。

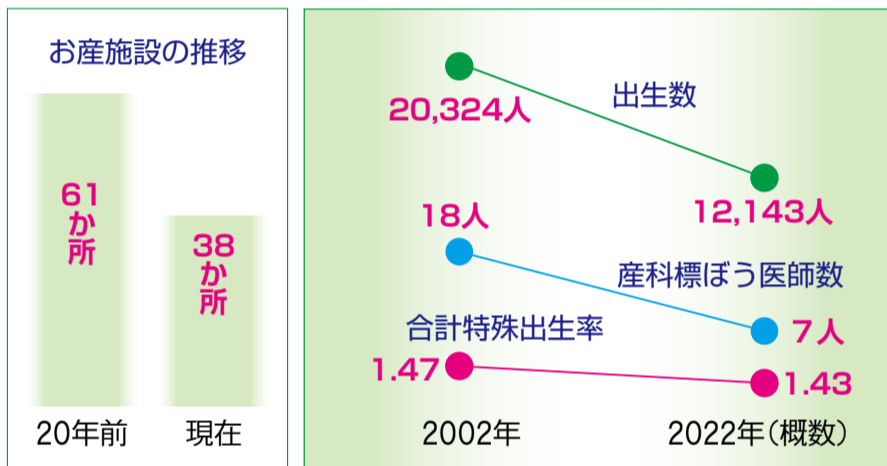


県民文化・健康福祉委員会（7月3日～5日）

○ジェンダー指数が世界125位にダウン。特に政治・経済で遅れている。男女の賃金格差をなくし、その人らしく健康に働き、子育ても安心の社会づくりが求められ事業所への啓発と県の取り組み促進を求めました。

○本気の少子化対策、子育て支援策の充実が求められている中、お産ができる施設が減少している。地域で安心してお産できるよう取り組むべきだがお産施設がない医

療圏もある。県はお産施設を増やす計画をもって対策の強化を求めました。



健康福祉委員会の現地調査（6月13日）

木曽郡6町村の首長がそろって、木曽地域で唯一の県立木曽病院の充実に医師・看護師の確保、介護福祉士の確保を強く要請されました。

私は7月5日の委員会でもこの切実なご要望への対応を求めました。



広報委員会（7月7日 本会議終了後）

議員提案の国への意見書議案について、採決・可決した意見書のみ広報に掲載してきたが、本会議

で否決された議員提案意見書案についても記載すべきと意見を述べ、実現に。

県民要求実現へ全力でがんばります

日本共産党県議団は6人になり、交渉会派で代表質問もできるようになりました。



- 山口典久議員 各所属委員会が左記のように決まりました(写真順)
- 総務企画警察副委員長
- 毛利栄子議員 産業観光企業委員
- 藤岡義英議員 危機管理建設委員
- 和田明子議員 決算特別委員
- 農政林務委員
- 少子化・人口減少対策調査特別委員
- 高村京子議員 県民文化健康福祉委員
- 広報委員
- 両角友成議員 環境文教委員長
- 議会運営委員

